

令和 7 年度

上越市第 3 次総合教育プランに基づく
教育委員会の施策の点検・評価

報 告 書

令和 8 年 8 月
上越市教育委員会

目次

I 教育委員会の会議及び委員の主な活動	1
II 基本施策の点検・評価について	2
各プランの点検・評価	別冊
III 学識経験者からの意見	3

I 教育委員会の会議及び委員の主な活動

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長が具体的な事務を執行する。定例会や臨時会の会議を開催するとともに、教育委員会の事業や運営に関する重要な案件については、随時教育委員と事務局との協議を行っている。

■ 令和7年度の活動状況

(1)教育委員会会議の実施

定例会:12 回開催、臨時会:1 回開催 計:13 回開催

<議案等件数>

- ・議案 61 件
- ・報告 1 件
- ・請願 1 件

(2)総合教育会議の実施

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、市長と教育委員会との協議の場として総合教育会議を開催することとしている。令和 7 年度は会議を 1 回開催した。

- ・開催日:令和 8 年 2 月 2 日
- ・協議題:すべての子どもへの学びの保障について

(3)小中学校訪問(3 回:3 校)

実施日	訪問校(テーマ)	訪問目的
6 月 26 日 (木)	城西中学校 (不登校支援の先進事例)	不登校支援や日本語支援、教育補助員等に関する取組を視察し、今後の教育施策に反映させる。 <視察内容> ・取組・課題説明 ・教職員等との意見交換 ・授業参観
11 月 19 日 (水)	頸城中学校 (外国につながる子どもへの日本語支援)	
1 月 29 日 (木)	有田小学校 (教育補助員・介護員の活動内容)	

(4)その他会議等への出席

- ・関東甲信越静教育委員会連合会総会・研修会(長野県長野市)
- ・新潟県市町村教育委員会連合会総会・研修会(阿賀野市)
- ・上越地方三市教育委員連絡会総会(上越市)

(5)教育委員会の公開

会議録を上越市のホームページに掲載

Ⅱ 基本施策の点検・評価について

「上越市第3次総合教育プラン(令和5年度から令和12年度まで)」は、上越市第7次総合計画に掲げた政策と整合し、その実現に向けた教育分野の具体的取組を、6つのプランと14の取組として示しており、教育の一層の振興を図るため策定した上越市教育大綱「わくわくを未来へ」と関係させながら取組を進める。

本計画の着実な推進のため、毎年度の施策の実施状況、成果指標の達成状況を点検・評価し、次年度以降の施策の展開に反映する。

<点検・評価の手順>

- (1) 毎年度の取組において、市民の意見やニーズを把握するとともに、計画の進捗状況や成果等について進行管理を行う。
- (2) 毎年度の取組終了後、本計画に基づく施策の実施状況、目標の達成状況について、定量的・定性的の両方の観点で点検を行い、総合的に評価する。
- (3) 評価結果を踏まえ、当市が目指す教育の実現に向け、施策内容の見直し・改善を行い、次年度以降の取組に反映する。

また、期間を前期(令和5年度から令和8年度まで)と後期(令和9年度から令和12年度まで)に分け、前期期間終了時に、取組状況を整理し、必要に応じて見直しを行う。

点検・評価										
計画	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
教育大綱	実施	見直し	実施			期間の定めなし				
総合教育プラン	第2次プラン	改定				第3次プラン	見直し			
総合計画	第6次総合計画	改定				第7次総合計画	見直し			

別冊 各プランの点検・評価

Ⅲ 学識経験者からの意見

上越市教育委員会として点検・評価した内容について、学識経験者から次のようなご意見をいただいた。これらの意見を受け止め、今後の施策実施にいかしていく。

■ 上越教育大学 教授 清水 雅之 氏

○子どもたちの学力向上を図るため、教職員研修の充実に取り組んでいることは評価できる。一方で、研修を実施したこと自体で満足するのではなく、その成果が授業改善や学力向上にどのように結び付いているのかを検証する視点が重要である。

○ICT の活用については、使用する機会を確保し、頻度を高めていくことも引き続き重要である。ただし、「学びの質の向上」や「主体的に学ぶ態度の育成」にどのようにつながっているかについては、活用頻度のみでは十分に把握できないと考える。今後は、ICT の活用が児童生徒の学びにどのような変化をもたらしているのかという視点も取り入れながら、成果の把握方法や評価の在り方を検討してほしい。

○オンライン学習については、家庭と学校をつなぐ学習機会の確保や、不登校児童生徒の心理的安全性を確保する観点から重要な取組である。一方で、多忙な教職員が無理なく実施できるよう、ICT 機器を特定の教室にあらかじめ設置するなど、オンライン学習を実施しやすい環境整備についても検討する必要がある。小規模校同士による他校との合同授業の実施も取り組みやすくなるのではないだろうか。

○コミュニティ・スクールや学校運営協議会については、地域住民や関係団体の協力により良好な実践が進められている事例も見られる。委員のなり手不足が懸念される中においても、学校と地域が目標を共有し、地域資源を有効に活用しながら、持続可能な協働体制の構築に努められたい。

○学校施設の整備については、LED 化をはじめとする計画的な改修が進められていることを評価する。一方で、特別教室のエアコン設置やトイレ改修、避難所機能の向上など、多くの課題があることから、施設ごとの整備方針や優先順位を明確にしながら計画的に進めていくことが重要である。限られた財源の中ではあるが、児童生徒の学習環境の向上と安全・安心の確保の両面を踏まえた環境整備を期待する。また、学校施設以外の施設も含めて、WBGT 計の設置など、利用者の安全に配慮した充実を検討されたい。

○令和 7 年度の教育委員会施策については、多岐にわたる取組が展開されており、全体として評価できる。一方で、成果指標については数値の上昇や低下そのものを評価するのではなく、その要因を分析し、施策の効果や課題を丁寧に検証することが重要である。成果指標を施策改善につなげる視点を持ちながら、より実効性の高い取組となることを期待する。

■ 上越教育大学 准教授 辻村 貴洋 氏

- 学力向上に向けて、校内研修や授業改善の取組が進められていることは評価できる。一方で、授業改善が進められているにもかかわらず、NRT の結果との間に差異が見られることについては、その要因を分析する必要がある。各学校の主体的な取組を重視する中で、必要以上に教育委員会が指導や働きかけをためらう場面が生じていないか点検するとともに、授業改善が確実に定着するよう、指導主事等による継続的な伴走支援を進めてほしい。また、成果の評価に当たっては、年度ごとの結果の変動に過度に左右されることなく、中長期的な視点で捉えることが重要である。
- ICT の活用については、活用機会の増加と主体的に学ぶ態度の育成が必ずしも一致するものではない。児童生徒の主体性を尊重することは重要であるが、一方で教職員による適切な指導や働きかけも欠かせない。児童生徒の成長を促すためには、そのバランスを意識した教育実践が重要であり、ICT 活用についても活用頻度だけでなく、教育的効果や学びの質の向上という視点から評価を行うことが必要である。また、学習指導要領改訂の動向を踏まえながら、柔軟な対応を図ってほしい。
- 不登校児童生徒への支援については、教育支援室やフリースクールなど、多様な学びや居場所の充実が重要である。また、それらの支援機関について教職員が実際に見学し、活動内容や支援の実態を理解する機会を設けることで、学校と支援機関との連携がより円滑になるものと考ええる。多様な支援につなぐ視点を持ちながら、児童生徒一人一人に応じた支援の充実を期待する。
- 子どもを取り巻く課題が複雑化・多様化する中、学校教育の分野のみで対応できる課題は少なくなっており、福祉、保健、子育て支援など関係部局との連携がますます重要となっている。教育委員会施策の推進に当たっては、教育プランだけでなく、他の関連計画とのつながりや役割分担が分かるよう整理しながら進めてほしい。また、施策を支える教育委員会事務局や指導主事の取組についても、その役割や成果が見える形で示されることを期待する。
- 令和 7 年度の教育委員会施策については、全体として概ね順調に進められていると評価できる。一方で、学習指導要領の改訂の動向については注視していく必要がある。施策や成果指標については固定的に捉えるのではなく、教育課題や国の議論の動向を踏まえながら、必要に応じて柔軟に見直しや修正を行えるようにしておくことが重要である。また、教育行政を市全体の取組として捉え、関係部局との連携を図りながら施策を推進していくことができる体制の確保に意を用いてもらいたい。

令和 7 年度 上越市第3次総合教育プランに基づく
教育委員会の施策の点検及び評価 報告書

令和 8 年 8 月 上越市教育委員会

(本報告書についてのお問い合わせ先)

上越市教育委員会教育総務課

〒942-8563 新潟県上越市下門前 1770 番地

TEL 025-545-9243 FAX 025-545-9272

URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>
